

平成30年度企画展

御風の作った校歌と

市内の学校のお宝展

(平成30年10月6日～12月2日)

相馬御風は詩人、歌人、随筆家、作詞家、自然主義評論家、そして良寛研究の第一人者として、近代日本文学界に幾多の足跡を残しました。

そのうち作詞に関しては「春よ来

い」などの童謡や「カチューシャの唄」などの歌謡をはじめ、国民歌、社歌など生涯で550曲を超える歌を作詞し、日本の音楽界にも大きな足跡を残しました。

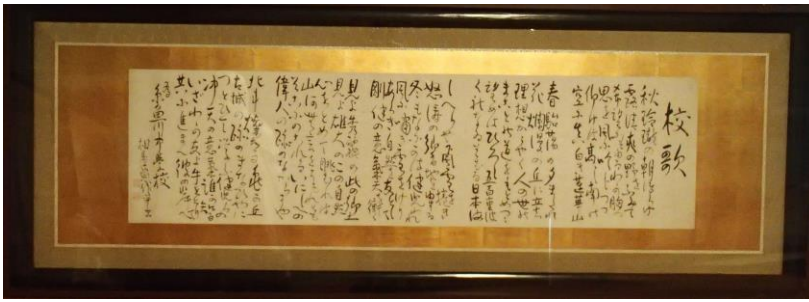
なかでも校歌の作詞や校訂は、北海道から九州まで全国におよび、200曲余りに関わったとされ、多くの業績を残しています。

代表作は明治40年、御風が24歳の時に、第一作目として作詞した早稲田大学校歌「都の西北」です。

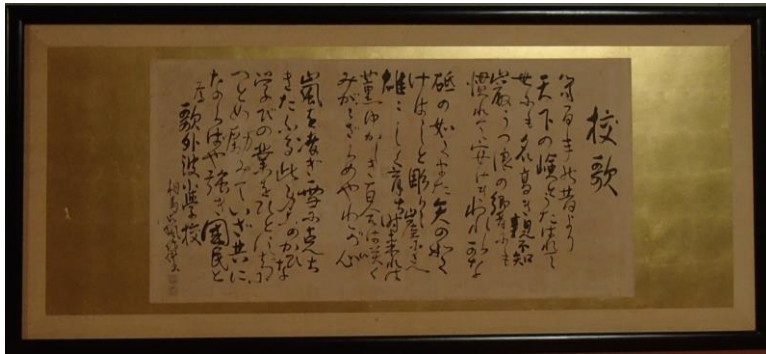
今回の企画展では、市内の学校や

公民館等の協力のもと、現存する学校だけでなく、懐かしい学校の校歌額を中心に、市内の学校の代々伝わるお宝や懐かしのお宝など、約60点を展示しました。

来館者に実施したアンケートでは、「学校が少なくなっていく中、思い出や思い入れのある校歌が見られて良かった。」「地元の誇り、とても意味深いものばかりだった。」等のうれしい感想をいただきました。しかし、一方では、「小中高生にも分かりやすい文字の工夫をし



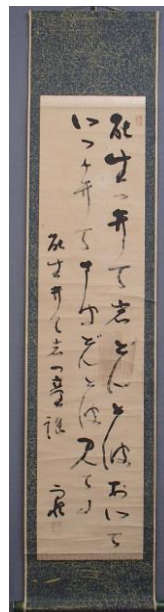
旧制系魚川中学校校歌(現系魚川高等学校校歌・御風直筆)
系魚川高等学校所蔵



旧歌外波小学校校歌(御風直筆)・青海小学校所蔵



展示説明会の様子



能生小学校お宝

能生弁天岩の童謡

野口雨情作

てほしい。」「読めないなので現代仮名遣いの訳文、読み下しを付けてほしい。」などの意見もありました。

今回の企画展には、アンケートでいただいた様々な意見を参考に、展示の内容、方法を再度検討していきたいと思



系魚川小学校お宝
郷土三神像・藤巻栄造作

■編集後記■

昨年4月に異動して、初めて相馬御風記念館の業務に携わり、多種多様な系魚川の文化や、相馬御風の生き様・人柄に触れ、系魚川のよさを改めて実感しています。観光客のみならず、市民の皆さんが訪れてくださる施設になるよう、今後も業務に取り組んでまいります。高校生以下は入館無料です。いつでも気軽に立ち寄りください。(長谷川知映)

■編集者■

山本恵美・藤巻加奈恵・船木一輝・長谷川知映